

5 税を通して望ましい社会の在り方を考えよう

ワーク6 》》 望ましい社会の在り方

来月、A市では市議会議員選挙が行われます。次の情報を参考にワークに取り組んでみましょう

A市の状況

現状

- 人口10万人
- 近年少子高齢化が進み、財政状況が厳しさを増している。

課題

- ① 共働き家庭の増加に伴う保育所の確保、待機児童の解消
- ② 人口減少に伴い高齢者が買い物などで利用している民間路線バスの利用者の減少が進み、赤字路線となり路線の廃止を検討
- ③ 市内を通る幹線道路の整備が遅れ、夕方には様々な場所で交通渋滞が発生
- ④ 市の中心産業だった工場が閉鎖し、税収や雇用が減少傾向

住民の声

		「税」の集め方、「税」の使われ方への要望と「税」に対する考え方
若者		・ 将来に負担を先送りするのではなく、若者が明るい将来を展望できるような施策を実施してほしい。 ・ 若者は収入が少ないので、できれば減税をしてほしい。
成人男性		・ 地元で生活していけるよう町の活性化や働き先の確保は重要だ。 ・ 税は多く納めている人に優先して使われるべきだ。ただ、これ以上の税の負担増は避けたい。
成人女性		・ 将来的には、出産しても働き続けたいので、待機児童問題は解決してほしい。 ・ 税は困っている人たちに優先的に使うべきであると思う。
高齢者		・ 歩くのは大変なので、バスや電車を多く利用したい。 ・ これまで社会に貢献してきた高齢者には、納める税を少なくして、サービスを充実してほしい。

5 税を通して望ましい社会の在り方を考えよう

候補者は次の人たちです

X
候補



産業発展に企業誘致

【政策】

- 企業を誘致し雇用確保
- 利便性向上のために高速道路建設

【不足財源確保の方法】

一律10%の住民税に累進課税方式を導入し、所得に応じた税率を適用
(最高税率40%、最低税率5%)

Y
候補



教育・子育て優先に

【政策】

- 保育所を増設し待機児童解消
- 大学までの授業料無料化

【不足財源確保の方法】

公債を追加発行し、財源確保
(住民税率は現状維持)

Z
候補



高齢者にも優しいまちに

【政策】

- 介護施設の充実
- 赤字路線バスの存続のため公的資金を投入

【不足財源確保の方法】

一律10%の住民税率を25%にアップ

公約を実現すると、来年度の予算編成で

100億円分（住民一人当たり10万円分）の財源が不足

争点：財源の不足分をどのように確保するか！？

5 税を通して望ましい社会の在り方を考えよう

(1) 各候補者がそれぞれ公約に掲げている、①「政策」及び②「不足財源確保の方法」について、それぞれの長所と短所を記入してみましょう。

		X候補	Y候補	Z候補
長 所	①			
	②			
短 所	①			
	②			

5 税を通して望ましい社会の在り方を考えよう

(2) 各候補者の公約について、若者、成人男性、成人女性、高齢者のそれぞれの立場から、

①「政策」及び②「不足財源確保の方法」の視点に基づき、評価して記入してみましょう。

		X候補	Y候補	Z候補
若者	①			
	②			
成人男性	①			
	②			
成人女性	①			
	②			
高齢者	①			
	②			

5 税を通して望ましい社会の在り方を考えよう

- (3) あなたはX候補、Y候補、Z候補の誰に投票しますか。
理由も含めて記入し、そのあとグループで意見交換をしてみましょう。

• 私は_____候補に投票します!
理由：

• みんなの意見